

気候変動・環境 体験学習を通してSDGsを学ぼう!!

海岸のマイクロプラスチック観察から見えてくること

ジオパーク学習センターでは、海岸で採取したマイクロプラスチックの観察などの体験学習などを通してSDGsを学ぶことができます。マイクロプラスチック観察からどんなことが見えてくるのか、また海洋が温暖化したら、より酸性化したらどうなるのかなど実験などを通してみんなで考えます。最近では、国際的にG7サミットなどで環境問題としてプラスチックごみによる海洋汚染も含めた持続可能な自然資源の管理について議論されています。また日本では今年4月から「プラスチック資源循環推進法」が施行される予定です。学校教育や生涯教育に活用ください。



▲学習センターの環境コーナー

冬休みわくわく教室 「岩石のスイーツづくり」開催しました

スイーツづくりで岩石のでき方を学ぶ 子ども・保護者 40人参加

今年のジオパーク冬休みわくわく教室は、1月8日(土)に開催しました。今回は新型コロナウイルス感染予防のため人数を減らし、午前と午後の2回に分けて開催。チョコや水飴などの材料を使って黒曜石づくりや火山岩・深成岩づくり、縞石づくりを行いました。黒曜石づくりでは、まるで溶岩が沸き立つような様子に驚いていました。併せてスイーツを使った火山灰と豪雨の実験や地震と地盤の固さの実験もしました。



▲スイーツの黒曜石づくり

ジオ散歩 学習センターで「弘法大師伝説」ゆかりの地に触れる

弘法大師にまつわる伝説は全国各地にあります。男鹿にも「弘法大師の硯石」や「じゃがいもが石になった話」(縞石伝説)などがあります。「じゃがいもが石になった話」は学習センターの大画面を使って紙芝居で楽しむことができます。「弘法大師の硯石」は学習センターのパネルで紹介しています。ジオサイトと合わせて楽しんでみてはいかがでしょうか。



▲学習センターのパネル

新しい展示

植物化石「ナウマンヤマモモ」(男鹿市台島産)

植物化石「ナウマンヤマモモ」を展示しました。日本地質学会では硬質泥岩、黒鉱、ナウマンヤマモモを「秋田県の石」として認定しています。



新しい教材

福徳岡ノ場由来の漂着軽石 ～軽さの秘密を探る～

福徳岡ノ場由来とみられる漂着軽石を活用し学ぶことができます。



感染対策 来館の際は、マスク着用をお願いします。ハンド用消毒液はセンター入口に用意しています。